

日本ウマ科学会 2025年度 第2回常任理事会議事録

日 時：2025年2月26日（水）13：30～14：50

場 所：日本装蹄協会（JRA 新橋分館7階会議室）

出席者：青木 修 会長
田谷 一善 副会長
高橋 敏之 副会長
加藤 智弘 庶務担当常任理事
半澤 恵 会計担当常任理事
楠瀬 良 編集担当常任理事
近藤 高志 学術担当常任理事
桑原 正貴 国際担当常任理事
平賀 敦 広報担当常任理事

福田 健太郎 事務局長

岡田 裕二 JRA 栗東トレーニング・センター 競走馬診療所
上席臨床獣医役

欠席者：佐々木 直樹 臨床担当常任理事

議題：

はじめに 青木 会長 挨拶

1. 役員の変更について (加藤・事務局)
2. 第37回学術集会開催報告 (近藤・事務局)
3. 2025年活動計画について (事務局)
4. 第38回学術集会予定 (近藤・事務局)
5. その他
 - 1) 臨床委員会企画の準備状況 (事務局)
 - 2) 第5回認定馬臨床獣医師認定試験について (事務局)
 - 3) 認定馬臨床獣医師の更新状況について (事務局)
 - 4) IGEEP12の開催準備状況について (高橋)
 - 5) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について (途中経過) . . . (近藤)
 - 6) 国際交流促進事業 海外渡航支援 後期申込状況 (桑原)
 - 7) 「交通費・賃金等に関する内規」「謝金等に関する内規」の改正について (事務局)

議事概要：

議題 1. 役員の変更について

- 青木会長のあいさつに続き、加藤庶務担当常任理事から、JRA からの早期退職に伴う福田健太郎 事務局長の退任と、それに伴う岡田裕二 JRA 栗東トレーニング・センター競走馬診療所 上席臨床獣医役の新事務局長就任の提案があり、一同承認。また、JRA 定期人事異動に伴う評議員 1 名の交代、JES 編集委員の 2 名追加、および Hippophile 編集委員の 1 名追加の提案があり、一同承認。

議題 2. 第 37 回学術集会開催報告

- 近藤学術担当常任理事から 11 月 25 日(月)～11 月 26 日(火)に行われた学術集会に関する詳細を報告。
- 参加者数は微減も参加者収入は前年比 106.5%となった。
- 今大会は 54 演題という多くの一般演題が発表された。
- 文化芸術特別講演として、油彩画家の長瀬智之氏にご講演を賜わった。
- 臨床委員会企画としては Dr. Elizabeth Santchi にご講演を賜わり、症例検討会 4 演題に対しコメントを頂いた。
- 功労賞は(有) エスティファーム・小見川の小檜山悟会員が受賞した。
- 19 社による企業展示が行われたほか、伯楽会および長瀬氏による芸術展示会が行われた。
- 学術集会に関わる予算執行はほぼ想定通りとなった。
- 参加費収入も増加したが、会場使用料の大幅な増加、参加登録システム料の発生、懇親会費の持ち出しなどの経費発生により、支出も増加した。
- 企業展示収入は 300 万弱と推定しており、これにより収支は均衡すると考えている。
- 会場アンケートの結果より、事前決済と QR コード受付導入による受付業務の効率化は好評であった。

議題 3. 2025 年活動計画について

- 2025 年の活動計画について近藤学術担当常任理事が説明した。

議題 4. 第 38 回学術集会予定

- 事務局から第 38 回学術集会の開催方法とその検討項目を説明。
- 事前参加登録、クレジット決済および QR コード受付は今年も継続。一部でクレジット決済に難色を示す方がいたことから、当日現金受付を行う旨周知することとしたい。
- 本年は演題受付もフォーム入力式の web 投稿システムを導入し省力化を図る方針。

- 臨床委員会企画は Dr. Sahra Sielaff による核シンチグラフィーに関する講演を行う予定。

議題 5 その他

1) 臨床委員会企画の準備状況について

- 本年招聘予定の Dr. Sahra Sielaff (Pferdeklinik Bargtheide、ドイツ) は JRA の桂嶋先生と麻布大の山田一孝先生がアテンドする予定。
- 詳細は未定だが、学術集会における症例検討会かシンポジウム、JRA 美浦トレーニング・センターにおける講習会、さらに JBBA における講習会が検討されている。
- 次年度の第 39 回では、内分泌関連性蹄葉炎が専門の Dr. Andrew Van Eps を招聘予定。アテンドは大和高原動物診療所の齋藤先生。

2) 第 5 回認定馬臨床獣医師認定試験について

- 事務局より、2024 年 11 月 26 日（火）に KFC Hall & Rooms にて 6 名が受験し全員合格。試験の合格者には認定証を郵送し、ホームページに氏名を掲示したと報告。

3) 認定馬臨床獣医師の更新状況について

- 2024 年中に資格有効期限を迎える 16 名を対象に更新手続きを受け付けたところ、12 名の申請を受け付け、更新を行った。なお、2020 年の学術集会がオンライン開催となり、同年の試験を行っていないことから、2025 年 12 月に更新作業は発生しないことが報告された。

4) ICEEP12 の開催準備状況について

- 学会運営会社として近畿日本ツーリスト株式会社と契約する予定。
- JRA より 2025 年度の競馬振興特別助成金 500 万円の交付が決定。
- 国際委員を講師とした調教師向けセミナーの提案をされていて、開催日の調整等、開催方法について検討中である。
- 学会のオンライン開催方法について、ライブストリーミングのみではなく、録画視聴も可能となるよう要望がある。
- 本年の学術集会で、空き時間に国内組織委員が集まる機会を設けたい。

5) 学会賞・奨励賞・功労賞の選考について（途中経過）

- 現在のところ、奨励賞候補 1 件の推薦を受付済み。推薦は 5 月末まで受け付け予定。

6) 国際交流促進事業 海外渡航支援 後期申込状況

- 現在のところ、1 件の申し込みを受付済み。3 月末日の締め切り後に選考委員会を開催予定。
- 7) 「交通費・賃金等に関する内規」「謝金等に関する内規」の改正について
- 臨時雇用者の賃金について、昨年 10 月 1 日の時点で東京の最低時給が 1,163 円であり、本学会内規の 1,100 円が下回っているため、1,200 円への値上げを提案し了承された。
 - 臨時雇用者の交通費について、現在内規では 1 日 1,000 円を上限としているが、関東の獣医系大学生が両国で行われる学術集会で臨時雇用された場合、最寄りの大学からの往復交通費は、麻布大学であれば 1,568 円、日本大学ならば 1,570 円かかってしまう。このため交通費支給上限を 1 日 1,700 円とすることを提案し、了承された。
 - 謝金について、近年臨床委員会企画に招聘している外国人講師の謝金額が低すぎるとの指摘がされている。現在国内相場では 90～120 分の講演では 10 万円ほどの謝礼を支払うものとされている。そこで謝金についての内規に関して、特に非会員による講演では 2 時間で 10 万円、実習講師については 4 時間で 15 万円の謝金が支払えるように改正を行い、同時に会員に対する謝礼額も増額させるよう提案し、了承された。

(14:50 終了)